

豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.38)

1. 豊田PCB廃棄物処理施設の不具合対策について

豊田PCB廃棄物処理施設(豊田施設)では、今年1月に真空加熱炉の熱交換器が破損し、冷却水がステンレス床から施設内へ漏洩発生する不具合が起きましたが、このたび、対策工事を完了しました。

(1) 熱交換器関連の改良工事について

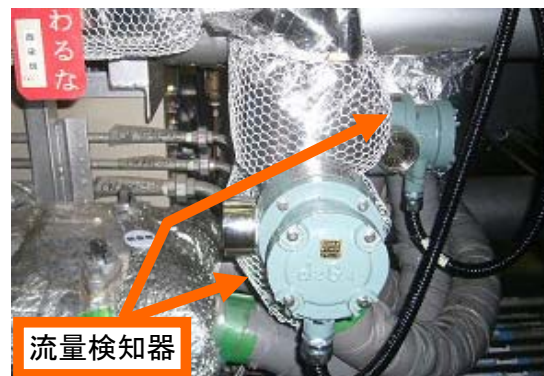
① 真空加熱炉内の熱交換器

- ・ 熱交換器(8台)を全て交換しました。
- ・ 冷却水が漏洩した場合に異常を検知し、警報を発する流量検知器の設置や真空加熱装置を停止させるためのシステム変更を行いました。

② その他の熱交換器(140台)については全て点検し、必要な補修を行うことにより、安全性を確認しました。

③ 流出防止機能に係る対策について

- ・ ステンレス床の遮蔽性を確保するために補修を行い、その他の流出防止機能(流出防止堤、防油堤等)についても安全性を確認しました。
- ・ PCB以外の油、薬剤等の漏れ対策として、新たに漏洩検知器を追加設置しています。



追加設置した流量検知器



ステンレス床の補修作業(溶接)



追加設置した漏洩検知器

(2) 工事中の冷却水の漏れについて

5月13日、上記の熱交換機の交換作業に関連して、その安全性向上のために行っていた電動バルブの制御方法の変更工事の際に、配管の継ぎ手から冷却水(エチレングリコール約40%水溶液)が180リットル漏れました。

原因は、電動バルブを開いたことにより、配管内に滞留していた冷却水が流出したのですが、冷却水は全て施設内にとどまり、施設外への流出、排気異常とも無く、周辺環境への影響はありませんでした。

上記(1)記載の不具合対策の一環として管理体制の強化を図っている最中に、バルブの閉め確認を怠るという人為的ミスが発生させたことは、大変申し訳なく深く反省しています。

弊社として、この事態を重く受け止め、現在、管理体制の見直しを検討しています。

2. 事業部会の開催について



豊田事業部会の状況

5月14日、豊田施設において日本環境安全事業株式会社(JESCO)PCB廃棄物処理事業検討委員会豊田事業部会(主査:田中勝岡山大学教授)を開催しました。

部会では不具合対策の内容について報告し、委員から、以下の意見をいただきました。

- ① 社員一同、お互いにヒヤリとしたことやハッとしたことを発表し合って、緊張感を持って自己研鑽すべき。
- ② 施設の設計思想と操業との間にギャップがないか、設計者とJESCOとの間で確認すべき。

等、数多くの意見をいただき、これを受けて、

【次ページへつづく】

【前ページからのつづき】

- ①については、全社員でヒヤリハット活動を行い、事故防止・労働災害防止を推進していきます。
 - ②については、豊田施設内の各設備について、定期的に施工者・設計者から設計の考え方等を再確認するとともに、作業面、設備保全における問題点の洗い出しを行います。
- いただきましたご意見等をもとに、ハード面(設備)及びソフト面(人)ともに安全かつ健全な施設の確立に全力をつくします。

3. 豊田市PCB処理安全監視委員会へ報告

5月18日、豊田施設において平成19年度第1回豊田市PCB処理安全監視委員会(委員長:藤江幸一豊橋技術科学大学教授)が開催されました。

はじめに弊社から今般の不具合に係る調査結果、対策等について報告した後、豊田市からこの不具合に対する市の対応等について報告されました。

その後、委員の方々に不具合対策を講じた現場を確認していただきました。

委員の方々から、

- ① 人為的ミスが発生するのは工程管理が問題なのではないか。工程管理が確立していないとセーフティネットを構築しても同じミスを繰り返す。しっかりと確立して示すべき。
 - ② 不具合やミスが起こるのは、豊田施設がどういう理念で設計されているか、末端の作業員まで行き届いていないのではないかと。設計の理念について安全教育に入れるべき。
 - ③ 小さなトラブルが重なって、大きなトラブルが起きるもの。度重なる小さなトラブルが市民の信頼を無くしている。トラブルを発生しないよう、最大限努力するこ
- 等、数多くのご意見をいただきました。

いただきましたご意見を真摯に受け止め、管理体制の見直し等を図っています。

具体的には、現在、工程管理を重点において、業務や工事の監督基準の見直しを進めています。見直し終了後、全社員へ周知徹底します。また、設計の考え方が作業に反映できるよう全社員への再教育も行います。

設計思想に則した作業及び安全作業思想の徹底を図り、小さなミスから予防して、皆様の信頼を取り戻すよう全力をつくします。



豊田市PCB処理安全監視委員会の状況



不具合対策を行った設備の現地確認

4. 防災訓練の実施



防災訓練の実施状況

5月23日、豊田施設において防災訓練を実施しました。

訓練は、真空加熱エリア内の分析待ち室において火災が発生したという想定で行われました。具体的には①現場確認と初期消火訓練、②避難誘導訓練、③消防署、関係各所への緊急通報訓練、④消火訓練等を行いました。

豊田市消防本部及び環境部に訓練状況の確認をしていたいただき、消防本部からは講評もいただきました。今後も定期的に訓練を実施し、非常時の迅速な対応を徹底します。

連絡先

日本環境安全事業株式会社(JESCO)

(連絡先) 豊田事業所 0565-25-3110

【豊田事業HP】 <http://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>